

令和7年度使用 中学校各教科 教科用図書の選定結果のまとめ

鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会

中学校各教科

教科	選定結果 発行者略称 記号・番号	選 定 理 由
国 語	光村図書 国語 038-72 038-82 038-92	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのカギ」が全領域に配置され、領域間の学びのつながりを視覚的にとらえることができる。また、「学びの扉」「学びの地図」と連動して課題解決能力を育成することができる。 ・「学習の見通しをもとう」が横書きになったことにより、生徒にとって従来よりも見やすくなった。単元内での学びの流れをつかみながら、年間を通して身につけさせたい力も見通すことができる。 ・振り返りの文言が分かりやすく、目標と振り返り・評価の一体化が図られている。振り返りを通じて言語活動が展開できる。 ・「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」で情報の取り扱いや整理の仕方を図解入りで分かりやすく示している。この内容は必要に応じて学年をまたいで使用することもできる。また、読む教材におけるガイダンスとしても有効である。 ・「語彙ブック」は発達段階に応じて語彙力を高め、思いや考えを表現するための手立てとなっている。 ・「読書」に関する単元が、各学年2か所ずつ設けられている。ノンフィクション作品が紹介されていることで、生き方や社会とのかかわりを考えるきっかけとなっている。
書 写	光村図書 書写 038-72	<ul style="list-style-type: none"> ・全教材に学習のポイントがひと目でわかる「学びのカギ」が設けられ、基礎・基本、原理・原則が明確にわかるように示されている。 ・主体的に学習できるようにするために、「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」の3ステップで、学習の見通しが立てられる構成になっている。 ・基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう、生徒の発達段階に応じて適切な教材が精選され、わかりやすく提示されている。 ・QRコードコンテンツで、筆使いが明確になるように工夫されている。 ・別冊「書写ブック」が設けられ、毛筆と同じ学習要素をもつ硬筆課題が豊富にあり、毛筆と硬筆を関連付けながら学べるようになっている。 ・「漫画」を取り入れた説明、著名人の個性あふれる文字などを採用することにより、生徒が興味をもって学べる工夫がされている。
社 会 (地理的 分野)	帝国書院 地理 046-72	<ul style="list-style-type: none"> ・「節(章)の問い」を受けた「学習課題」を各見開きに設置し、「学習課題」に対応した「確認しよう/説明しよう」が設置されている。また、単元末に「学習を振り返ろう」が設置され、「地理的な見方・考え方」を働かせて課題を振り返り、思考力・判断力・表現力を高め、協働的な学習を実践する場が設定され、「深い学び」を実現できるように配慮されている。 ・地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能および知識を身につけるために、「世界の諸地域」、「日本の諸地域」いずれの内容においても、地図や主題図、統計資料等を用いて、異文化理解や国土理解が深まるように配慮されている。 ・コラム「アクティブ地理AL」では全4テーマを設け、地域課題に対して自分の意見をまとめる、他者と意見を交換するなどの活動を通じて、課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて、今後自分がどのように社会参画していくのかを、主体的・対話的に学習できるよう配慮されている。

<p>社会 (歴史的 分野)</p>	<p>東京書籍 歴史 002-72</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の導入部に、図や写真、小学校で学んだ人物キャラクターを中心にした年表によって、小学校のレディネスを生かしながら、時代を大観して学習に取り組めるよう、配慮されている。 ・単元を貫く課題が導入部に設定され、単元全体を学んでいく上での見通し、探究課題・探究のステップの解決に向けてヒントとなる着眼点が、対話形式でわかりやすく示されている。 ・節や章の終末に「まとめの活動」が設けられており、チャート図やランキング等の思考ツールを活用して、既習事項を歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に思考を整理し、節ごとに学習を振り返られるように工夫されている。 ・対話的な活動を促す「みんなでチャレンジ」では、グループ活動で他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整していくことで、主体的に取り組む態度や深い学びにつなげる工夫がされている。また、段階的に言葉で表現する活動を通して、探究課題の解決に繋げ、時代全体を大観できる工夫がされている。
<p>社会 (公民的 分野)</p>	<p>東京書籍 公民 002-92</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの流れが「単元を貫く探究課題・1時間ごとの学習課題・単元を振り返る探究のステップ」と設定され、段階を踏んで課題を解決できる構成により、課題解決的な学習が展開されるよう工夫されている。 ・課題を追究する過程において、1時間の授業ごとに学習のめあてを提示する「学習課題」(?マーク)、社会的な見方・考え方を働かせる「虫眼鏡マーク」、学習課題を解決するための「チェック」(レ点マーク)・「TRY」が、見開き2ページの中に掲載されている。 ・各章末での「確かめよう」では知識習得を目的とするまとめのページが設定され、重要語句を見直したり説明したりする活動を通して、学習内容を定着できるよう配慮されている。また、「ふり返ろう」では、学習の流れに沿ってまとめることを通して主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。さらに、「深めよう」では、新たな視点での資料や問題が提示され、思考・判断・表現を発展させられるよう工夫されている。 ・Dマークコンテンツでは、デジタルコンテンツとリンクしており、授業だけでなく、家庭での予習・復習や、個別学習が可能であり、子どもが一人でも学習を広げられる学びが保障されるよう配慮されている。
<p>地図</p>	<p>帝国書院 地図 046-72</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各州、各地方で地図、地形図、鳥瞰図、主題図が豊富に掲載されており、世界では、各地域を大観できる大鳥瞰図を設置している。また、比較しやすくすることで、地理的な技能の向上を図りやすく工夫されている。 ・地理的な見方・考え方を働かせる問い「地図で発見!」が全156問作成されており、思考力・判断力・表現力の育成につながるよう配慮されている。また、地図活用の技能(スキル)が身につくような工夫がされている。 ・各種資料図にSDGsアイコンをつけることで、持続可能な開発目標の観点に基づいた課題を主体的に追究し解決する態度を養えるよう配慮されている。

<p>数 学</p>	<p>東京書籍</p> <p>数学</p> <p>002-72</p> <p>002-82</p> <p>002-92</p> <p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決に取り組む過程で、生徒に統合的・発展的に考えることを促すため、「同じように考えると」や「それなら」という表示を吹き出しにつけている。 ・ 「章の問題B」では、全国学力・学習状況調査の活用型の問題や入試問題を掲載しており、理解度に応じて身に付けた知識・技能を活用したり、自らの考えを表現したりする練習ができるようになっている。 ・ 習得した知識・技能を活用する「深い学びのページ」では、学習過程が可視化されており、生徒が自ら考え、対話を通して考えを深めることができる。また、学習の終わりに、大切にしたい見方・考え方の振り返りを行い、未知の問題を解決する際の考え方の手順や手立てを生徒が理解しやすくしている。 ・ QRコンテンツに「証明メーカー」が入っており、生徒が証明の筋道や、根拠となる性質を考えながら証明を組み立てる練習を行うことができる。 ・ 統計の問題では、「統計的探求プロセス」が可視化されている。 ・ 導入で利用できるデジタルコンテンツでは、単元を見通した学びの方向性を確認できる。 ・ QRコンテンツが豊富にあり、生徒が主体的に学習に取り組める。
------------	--	---

<p>理科</p>	<p>理科</p> <p>061-72</p> <p>061-82</p> <p>061-92</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が理解しにくい内容や誤解しやすい内容に「例題・練習」, 「なるほど」のコーナーが設置され, 基本的な知識の定着が図れるよう工夫されている。また「Review ふり返ろう」では, 基本的な用語や概念の理解を深めたり, 活用する力を身に付けたりする活動が設定されている。 ・ 単元導入に新設された「学ぶ前にトライ!」で, 単元を貫く本質的な問いが設定されており, 生徒が何のために学ぶのか」が意識できる。更に, 単元末の「学んだ後にリトライ!」では, 単元導入の問いを再考することで, 自身の成長や学びの深まりが実感できるよう工夫されている。また「部活ラボ」や「お料理ラボ」など日常生活や社会との関連付けた内容が充実し, 理科を学ぶ有用性を実感できると共に興味・関心を高めつつ, 生徒への主体性や探求心を育むことにつながる。 ・ 単元導入や章などで, 生徒の興味・関心を高めるビジュアルな写真・資料が示され, 主体的に問題を見いだせるような構成となっている。 ・ 「探Q実験」では, 理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの対話例が示されており, 対話が豊かになるよう配慮されている。問題を見いだす場面や実験計画を立てる場面, 考察の場面での対話例を通して, 探究の過程において着眼させたいポイントを示すなど, 話し合い活動の充実につながるよう工夫されている。 ・ 単元末の「みんなで探Qクラブ」では, 身に付けた探究の力を自由研究やパフォーマンス課題などとして活用し, 科学的に探究する活動を通して, 深い学びにつながるよう工夫されている。 ・ 「はてなスイッチ」の二次元コードを読み取ると, 単元の導入動画が視聴でき, 生徒の興味・関心や学習意欲が向上するように配慮されている。 ・ 課題解決的な学習を行うことを考えたゆとりのある時数配分となっている。また, 地域の気候特性や各学校の履修形態に合わせて, 単元順序の入れ替えが行えるよう工夫されている。 ・ サイズがワイド化されたことで写真と図が豊富に掲載され, それらが大きくダイナミックにレイアウトされている。生徒の探求心や興味・関心が高まることにつながる。 ・ 巻末にある探Qシートは各単元に設定された「探Q実験」に対応しており, 生徒自身が主体的に探究できるような工夫がみられる。また裏面の探Qラボを活用することで, さらに探求活動をサポートできるようになっている
<p>音楽 (一般)</p>	<p>教育芸術社</p> <p>音楽</p> <p>027-72</p> <p>027-83</p> <p>027-84</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽的な見方・考え方を働かせる際の大切な視点となる「音楽を形づくっている要素」が学習内容の一覧や, 各教材に記載されている。また「学びのコンパス」ではどの音楽を形づくっている要素に着目して考えればよいか示されており, 生徒の学びを深めやすい。 ・ 歌唱教材においてパート別の音源やカラピアノの音源などがQRコードで取得でき, 様々な学習形態や学習環境に合わせた使用や生徒の自律的な学習に役立てられる。 ・ 各題材の目標がカラーで分かりやすく提示されており, 生徒が目標を意識して学習ができるように工夫されている。また, 学習していく中でさらに深めたい内容が疑問形式で示されており, 課題意識を持たせて取り組ませやすい。 ・ 自分の住む地域の文化や伝統音楽, 伝統芸能について, 写真や資料が充実しており, 生徒がそれらを身近に感じながら我が国や郷土の音楽文化を愛好する心情や, 尊重する態度を養えるよう配慮されている。 ・ 小学校での学習内容と関連付けられた題材の配列となるよう工夫されている。またリズム学習や, 旋律の創作など, 年次があがるごとに関連した内容がさらに発展した形で内容が掲載されている。 ・ 写真や資料は色彩が鮮やかで発色が良く, 生徒の視覚的な関心を費いやすいように工夫がなされている。またフローチャートのような手順を図式化した内容や, 文字情報の配置も見やすく, 生徒の特性の多様性の観点から, インクルーシブ教育への配慮がされている。

<p>音楽 (器楽)</p>	<p>教育芸術社 器楽 027-72</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の中で考えさせたいポイントが明示されており、音楽活動を通して無理なく音楽を形づくっている要素をとらえたり、それらを生かして器楽や創作の活動を進めたりできるようになっている。 ・掲載されている写真や資料には音楽文化に関わる内容が掲載されており、音楽文化と豊かに関わるための工夫がなされている。 ・楽器の奏法などについては文章だけでなくイラストや写真などでも掲載されているなど、生徒が基礎的な技能を習得しやすいよう工夫されている。またデジタルコンテンツも充実している。 ・和楽器やギターなどでも、段階的に技術が身につくよう、練習フレーズが掲載されており、その後の楽曲の練習に入りやすい。 ・教科書全体がユニバーサルデザインフォントを多用しており、タイトルと文章だけでなく楽譜中の歌詞なども可読性、可視性が高い。楽譜のページに関しては文字情報が少なくなるよう配慮されているため、音符が見やすく書き込みなどもしやすい。 ・小学校学習指導要領の学習内容との系統性が保たれており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る内容となっている。また筆の学習では、演奏から発展した創作の活動が設定されており、発展的な内容も学べる。 ・学習できる内容が、リコーダー、和楽器、ギターから、巻末には様々な打楽器の奏法やボディパーカッションの楽曲なども掲載されており、様々な音楽活動に生かせる内容が盛り込まれている。
<p>美術</p>	<p>開隆堂 美術 009-72 009-82</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領に示された「造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」の育成に基づき「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に応じた各題材の学習目標がわかりやすく具体的に設定されている。 ・生徒同士が議論や検討などの対話を通して、新たな気づきとともに、発想・構想を広げ、鑑賞を深めたりすることができるような学習方法が題材に応じて提示されている。 ・各学年の巻末に、学びの資料というページが設けてあり、学習を深めたい生徒や、学びの再確認をしたい生徒がすぐに参照することができるようになっている。 ・多種多様な題材や資料が掲載されており、他教科やSDGsとの関連についてもわかりやすく表記されている。 ・一冊ごとに生徒の学習の展開に沿った構成になっており、3年間を通して、各領域・各題材のつながりを意識して学習を展開することができるように設定されている。また、1年生で一冊、2、3年生で一冊の2冊構成になっている。そのことにより、効率的に学習が進められるように配慮されている。 ・それぞれの分野がバランス良く配置されており、各学年の発達段階に応じた配慮や、他教科との関連も位置づけながら学ぶことができるよう工夫されている。 ・多くの生徒作品を掲載するとともに、「作者のことば」も提示し、さまざまな個性があることを学べるように工夫されている。 ・題材にはQRコードが掲載され、インターネットを通して、多様なコンテンツを利用することができるようになっている。教科書に掲載された作品以外の参考作品例を見ることができたり、発想・構想や鑑賞の振り返りなどに使えるワークシートも利用できるようになっていたりする。 ・学習をサポートする親しみやすいキャラクターを登場させ、各段階におけるアドバイスや、深い学びへと導く発問、発想や構想を広げる発言などが的確に短い文章で提示されている。 ・本文はユニバーサルデザインフォントが採用されており、中学校以降で習う漢字や美術の専門用語については、ふりがなを付けた総ルビになっており、文章の意味が捉えやすくなるように配慮されている。

<p>保健体育</p>	<p>東京書籍</p> <p>保体</p> <p>002-72</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領に示された目標に則り、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心や体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力の育成ができるように、各単元が「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップで構成されている。 ・全学年に単元が設定されている。 ・各単元の「活用する」で取り上げている内容は、生徒の生活経験から考えたり、記入したりできる内容であり、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。また、それらを活用して行う話し合いや発表などの活動を通して、思考力や判断力、または実践力を養うことができる。 ・学習内容を理解した上で、各実習ができるように配列が工夫されている。 ・写真や資料が豊富に掲載されており、さらに章末において詳細な解説が書かれているため、生徒の理解の深まりや興味・関心の高まりが期待できる。 ・SDGsと「感染症」「スポーツ」の関連や、テクノロジーを活用した健康管理・トレーニング等、保健体育で学習する健康、安全、スポーツに関わる最先端技術に触れる資料が扱われており、生徒の興味を高める工夫がされている。 ・二次元コードを読み取ると、「動画資料」により実写やアニメーションなどの動画を見て学習内容を深めることができたり、「シミュレーション」を用いて疑似体験や個々にカロリー計算を行ったり、主体的に学習できるコンテンツが揃っている。また、その資料を活用した学習展開が期待できる。写真や動画を活動した授業展開から、視覚的にも聴覚的にも考慮されたユニバーサルデザイン化された授業に効果があると考えられる。 ・全ての生徒が学びやすい紙面で構成され、特別支援教育への配慮、個人差や人権、多様性・共生への配慮、教育のICT化への配慮がされている。
<p>技術・家庭 (技術 分野)</p>	<p>東京書籍</p> <p>技術</p> <p>002-72</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方を働かせた深い学びを実現でき、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる工夫がされている。また、技術分野の学習の意義や大切さが伝わる工夫がされている。 ・ガイダンスの内容が充実しており、社会の中で技術が果たしている役割をわかりやすく表現されている。見通しをもって学習に取り組める工夫や、他教科とのつながりがわかる工夫があり、生徒が主体的に学習できるよう構成されている。 ・巻頭に「技術を読み取る活動」「思考ツールの活用」「フィールドワーク」「インタビュー」「まとめと発表の仕方」などの学習方法を示すことで、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう工夫されている。 ・各節の初めに「目標」が示されており、本学習の到達目標がはっきりとわかるようになっている。また、各節末に「自己評価」、各編末には「学習のまとめ」(記述式)が示されており、生徒自身の言葉で学習を振り返ることができるよう工夫されている。 ・各節に記載されているQRコードを読み取ることで授業に役立つ豊富な資料を使用することができ、生徒の深い学びの実現に向けての工夫も盛り込まれている。 ・豊富な写真やイラストが取り入れられておりわかりやすい。また、誰にでも読みやすく、正確な書体(UDフォント)を使用しており、文章も本文や図表が読みやすく配置されているのでユニバーサルデザインへの取り組みも十分であると判断できる。 ・「技術は夢をかなえるためにある」「未来を創る技術による問題解決」「技術の匠」など、生徒に技術分野の大切さを伝え、夢や希望を抱かせるような工夫が多数盛り込まれている。

<p>技術・家庭 (家庭 分野)</p>	<p>東京書籍 家庭 002-72</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「Warm up 1～4」では、教科書の構成やデジタルコンテンツについての説明、さらに家庭分野の学習の進め方などが記載されている。その中では、問題解決的な学習方法の道筋が丁寧に示されており、問題解決的な学習方法が定着できるよう工夫がされている。また、それに続く「ガイダンス」も充実しており、家庭科で目指すものや学習指導要領にもある生活の営みに係る「見方・考え方」については例を示し、理解がしやすいよう工夫されている。更に、小学校での学習内容を振り返ると共に、中学校3年間での学習の見直しをもてるよう配慮されている。 ・編末には「学習のまとめ」が示され、基礎的・基本的な知識技能が習得できたかを確認すると共に、学習の振り返りを通して、学んだことを生活に生かそうとする意欲を喚起し、家庭分野の学習と将来や持続可能な社会とのつながりを感じられるように工夫がされている。 ・巻末にある、選択「生活の課題と実践」では、問題発見・課題解決能力を育成できるように、問題解決的な学習をより具体的に解説しており、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。 ・一人一台端末に対応し、全373個のクイズやシミュレーションができる無料の「デジタル(QR)コンテンツ」があり、「Dマーク」が示されている個所では、学習内容に応じた映像資料が閲覧できる。 ・写真や図版は、発達段階に応じて理解できるよう、効果的に配置されている。 ・「リンク」マークを用い、他の分野で関わりのあるページを示したり、「他教科」マークを用いて、他教科との関連についても明記したりと、横断的に学習内容が理解されるよう配慮している。特に、技術・家庭科の特質に応じた道徳教育に関連する場面が随所に示され、道徳教育の充実にも配慮がされている。 ・多様な実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動を通して、3学年間の目標が達成できるような工夫がされている。 ・「主体的・対話的で深い学び」につながる場面として「考えよう」「やってみよう」「調べてみよう」などの活動を多く取り上げ、生徒が主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするためのキャラクターからの発問を設けるなど、深い学びの実現や問題解決能力の育成ができるよう工夫されている。
<p>英 語</p>	<p>開隆堂 英語 009-72 009-82 009-92</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習を見通して、4技能5領域の力を身に着けることができる構成となっている。(巻頭の内頁) ・身に付ける技能に特化した構成になっており、リテリングにも取り組みやすい。 ・目的・場面・状況を踏まえた言語活動が充実しており、言語材料が定着しやすい構成となっている。(Scenesの場面) ・学習のロードマップが単元のまとめ活動に向けて、各ページに示されており把握しやすい。 ・各単元のはじめに、「身に付ける能力」「どんな表現ができるか」が明示されている。 ・学習者の目線に立った実用的・段階的なCan-Doリストになっている。
<p>道 徳</p>	<p>日本文教出版 道徳 116-73 116-83 116-93 道徳ノート 116-74 116-84 116-94</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解しやすい多種多様な教材(絵本・写真・漫画・歌詞等)があり、場面を捉えやすい。また、生徒の興味・関心をひきやすい。 ・内容項目「生命の尊さ」に関しては、重点化が図られており、「いじめと向き合う」という項目がどの学年にも設けてあり、「自分たちの問題として捉え、いじめを許さない心を育てる」教材が充実している。いじめの問題に関しても、A,B,Cそれぞれの視点において、様々な内容の教材が取り上げられ、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ・多様な視点から学べるように、テーマの一部を基に複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」が設定されている。 ・道徳ノートでは、中心発問とそれに対する自分の考えを記載できる欄が設けられており、「自分に+1」では、実生活と結びつけて自分のこれからについて考え記入させる欄があり発展的になっている。

